

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座（柏） 市街地に残る里山はこうして守られた・「関さんの森」を訪ねる		
開催日時	2022年10月23日（日）10時～12時30分		
開催場所	松戸市幸谷地区（関さんの森・溜ノ上の森）	一般参加者	24名

活動の概要

高度経済成長期以降各地で都市化が急激に進行し、近郊に広がっていた里山は宅地や工場用地などに変貌していきました。松戸市も例外ではなく、この半世紀で森林面積は8分の1に減ってしまいました。

その中で「関さんの森」は、後世に里山風景を残そうとする関家の皆さんやそれに共感する多くの市民ボランティアの努力によって守られてきた貴重な里山です。

先代が亡くなったあと、相続による危機を自然保護団体への寄付により回避したこと、道路敷設計画による行政との対立は全国に報道され、社会的に自然保護の機運を高めるきっかけにもなったことなど、現当主の関美智子さんから直接お話を伺うことができました。

その後敷地内に残る蔵や植生を見学し、屋敷林であった「関さんの森」、15分ほどの場所にある関家所有の「溜ノ上の森」を訪ね、都市部に残る森の現状や森が抱える問題などについて、みんなで考える機会となりました。澄んだ秋空の下、楽しく有意義な一日になりました。



関さんのお話を聞きました。



江戸時代から残る蔵（雑蔵）



蔵の内部には昔の道具類を展示



シンボルツリー（ケンボナシ）



「関さんの森」の中を歩く



「溜ノ上の森」の竹林（モウソウチク）

F I C 講師 金井康郎・羽根敏子・瀧上和宏

本サイトの記事・画像等の無断転載は禁じます。

（作成：金井康郎）ver2021